

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【公表番号】特表2013-518684(P2013-518684A)

【公表日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2013-026

【出願番号】特願2012-552116(P2012-552116)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 17/39 3 1 0

A 6 1 M 25/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織修正デバイスにおいて、

近位端及び遠位端を有し、身体領域に挿入されるように形成された細長いエレメントと、

前記細長いエレメント内に配置された液体流体送出エレメントであって、該流体送出エレメントは、身体領域を取り囲む組織の容積を切除するための液体流体流を液体流体送出ポートを通して放出するように形成された、液体流体送出エレメントと、

ガスが送出されて前記切除するための液体流体流を取り囲み、該液体流体流の一体性を維持するように前記液体流体送出ポートに近接して配置されたガス注入ポートと、を含む、デバイス。

【請求項2】

請求項1に記載のデバイスにおいて、

前記デバイスが、前記組織を選択的に切除するように選択された形状及びソース圧力を有する前記液体流体流を送出するように形成された、デバイス。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のデバイスにおいて、

前記液体流体送出エレメントは、前記細長いエレメントに対し、並進、回転、振動、及び/又は回転振動を行なうように形成されている、デバイス。

【請求項4】

請求項1乃至3のうちのいずれか一項に記載のデバイスにおいて、更に、

前記細長いエレメント内に配置され、前記組織を可視化するように形成された可視化工エレメントを含む、デバイス。

【請求項5】

請求項1乃至4のうちのいずれか一項に記載のデバイスにおいて、更に、

前記液体流体流の内部を通してエネルギーを伝達し、前記組織を焼灼するように形成され

たエネルギー導管を含み、前記デバイスは、前記液体流体流の力を、前記エネルギーを伝達するには十分であるが前記組織を切除するには不十分なレベルに低下するように形成されている、デバイス。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のデバイスにおいて、更に、
前記液体流体流の前記内部を通して伝達された前記エネルギーを使用して前記組織を切除するように形成されている、デバイス。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のデバイスにおいて、
前記エネルギーは、光エネルギー又は高周波エネルギー等の電磁エネルギーである、デバイス。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のうちのいずれか一項に記載のデバイスにおいて、更に、
前記細長いエレメントの前記遠位端の近くに膨張可能なアンカーを含み、前記膨張可能なアンカーは、前記身体領域内で膨張し、切除中に前記細長いエレメントを安定するように形成されている、デバイス。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のうちのいずれか一項に記載のデバイスにおいて、更に、
前記液体流体送出エレメントの周囲の前記組織に吸引力を加え、切除発生物を除去するため、前記細長いエレメント内に除去内腔を有する、デバイス。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のデバイスにおいて、
前記除去内腔を通して切除発生物を吸引するため、液体流体送出内腔と前記除去内腔との間に所定の圧力差を維持するように形成されている、デバイス。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載のデバイスにおいて、
治療に使用するためのデバイス。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載のデバイスにおいて、
良性前立腺肥大症 (B P H) 、前立腺炎、又は前立腺癌の症状の経尿道的治療に使用するためのデバイス。